卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択

授業科目名： ふるさと学 ナンバリング：1010	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：2単位 （半期）講義	担当教員名：藤田利久 担当形態：単独

系　列	教養科目
教科目	外国語、体育以外の科目

授業の到達目標及びテーマ

1. 郷土（地域）に関心を持ち、郷土を知る方法を身につけることができる。
2. 郷土を資料などで調べ、理解する態度を身につけることができる。
3. 郷土の識者に話を積極的に聴くなど地域の教育力を借りる態度を身につけることができる。
4. 授業の体験を通して、郷土の教育資源を保育・教育に活かす術を身につけることができる。

授業の概要

"Think global, act local" や"Think globally act locally" の標語をよく目にする。日本を築いた明治の偉人はまさにこれを実行した人々だと考えられる。皆さんが子どもたちに保育を通して人間教育をする場合に、地域の人々や歴史・行事などの知識と理解は強い味方になると言える。

授業では郷土を見て、聴いて、知って、考え、伝えることを通して、身近な郷土や人々を愛し尊敬することをとおして地域の教育資源を教育・保育に活かすことができるようにする。

授業計画

第1回：オリエンテーション（授業の進め方と学生との約束事確認）
第2回：故郷を学ぶことの必要性と意義（埼玉の偉人紹介含む）
第3回：埼玉を知ろう（過去と現在と未来）
第4回：羽生を知ろう（羽生の歴史と文化財）
第5回：羽生を知ろう（羽生の未来）
第6回：熊谷を知ろう（熊谷と文化）
第7回：熊谷を知ろう（熊谷と過去と未来）
第8回：行田を知ろう（行田という町）
第9回：行田を知ろう（行田の歴史と文化）
第10回：加須を知ろう（加須の文化）
第11回：加須を知ろう（加須という町）
第12回：グループ分け、発表準備）
第13回：グループ分け、発表準備
第14回：グループごとのプレゼンテーション
第15回：グループごとのプレゼンテーション
定期試験：レポート

授業時間外の学習

（事前事後学習は毎回 90 分程度）

・この授業では、外部から講師を招いて行うので、事前学習は必須となる。
・次週の講演予定の地域・分野についての調べ、Ａ４用紙（ＰＣで作成）で提出をすること。
・施設見学や現地での講義では、必ずメモを取り、学習したことをまとめること。
・見学当日は、メモ帳・カメラ等を持参して記録するとともに、事前に質問事項を用意しておくこと。
・これらをもとにパワーポイントでプレゼン資料を作成する。

授業の方法

地域の方々を講師として招いての講座や施設見学などの活動を中心に行う。各回フィードバックテストを行う。相手の都合により講義日が変更となったり、連続講義（学生と相談の上）とする場合もある。

テキスト　『地域学の可能性』　彩の国さいたまひとづくり広域連合

参考書・参考資料等　その都度、紹介する。

学生に対する評価：授業参画度（授業後レポート含む）（50%）、発表（30%）、プレゼン(PPTで)（20%）等 総合的に評価する。目標の達成度評価基準はルーブリックで示す。

履修上の注意

この授業は自分の目で見て、耳で聴いて、行動して、体験的に学ぶことが中心となるので、事前に学生と相談しながら予定を決め、場合によっては連続講義となる。そのため、授業予定が変更となる場合もあり、交通費や見学料・材料費などの自己負担分が発生する場合もある。

実務経験の有無	無	実務経験	

実務経験を活かした教育内容